

# タイ・ユニオン・グループ(TUn)

ステイホームによる自宅料理の普及が追い風。グローバルな地域分散ポートフォリオによる持続的な安定成長へ  
タイ | 加工食品 | 業績フォロー

BLOOMBERG TU:TB | REUTERS TU:BK

- 2020/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比2.6%増、粗利益が同12.4%増、営業利益が黒字転換、純利益が同13.4%増と堅調だった。
- コロナ禍に伴う「ステイホーム」効果により自宅で料理する人が増えたことが魚介類・水産加工品の販売の伸びに貢献した。
- タイ国内のほか、米国・カナダ、欧州、新興国その他とグローバルな地域分散ポートフォリオによる持続的な安定成長が見込まれる。

### What is the news ?

8/13発表の2020/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比2.6%増の330.51億THB、粗利益が同12.4%増の53.64億THB、営業利益が前年同期の▲2.88億THBから23.66億THBへ黒字転換、純利益が同13.4%増の17.16億THB。都市封鎖の影響で冷凍シーフード関連製品部門が伸び悩んだものの、コロナ禍に伴う「ステイホーム」効果により自宅で料理する人が増えたことから魚介類・水産加工品部門の販売数量が伸びたことが増収に寄与した。それに加え、高付加価値ブランド製品を重視した冷凍シーフード関連製品部門の売上構成比が上昇したこと、およびペットフード&高付加価値製品部門において原材料価格が低下したことが粗利率上昇に貢献。また、前年同期に発生・計上した米国の訴訟費用が無くなったことにより営業利益が黒字転換。為替換算差益の増加や金融費用の減少もあり、当期利益は堅調に伸びた。

製品部門別の概況は以下の通り。①マグロ、サーディン、サバ関連製品やパウチサーモンなどを含む魚介類・水産加工品部門は、売上高が前年同期比16.8%増の163.94億THB。製品販売量の増加(同29.6%増)が寄与した。②エビ、ロブスター、養殖エビ用飼料などエビ関連製品やスモークサーモン、イカ・タコ、カニ、貝類などの冷凍製品を含む冷凍シーフード関連製品部門は、売上高が同14.0%減の115.54億THB。製品販売量の減少(同10.5%減)が響いた。③ペットフード&高付加価値製品部門は、売上高が同10.8%増の51.03億THB。製品販売量の増加(同6.5%増)に加え、高付加価値製品に特化したことが増収に寄与した。

### How do we view this ?

新型コロナウイルス流行の影響が不透明なため通期会社計画は未公表のままとしているなか、キャッシュの確保および社員の健康と安全を重視した運営にフォーカスする方針である。同社の事業はグローバルに地域が分散化されていることが業績の安定的成長に寄与している。2Qの地域別売上高では、タイ国内が前年同期比10.5%減、欧州が同3.0%減だったものの、米国・カナダが同8.9%増、新興国その他が同6.1%増となることで吸収されており、地域ポートフォリオによるバランスが図られている。2020/12通期の市場予想は、売上高が前期比2.8%増の1,297.74億THB、当期利益が同26.6%増の48.30億THB。

### 業績推移

※参考レート 1THB=3.38円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(百万THB)	134,937	133,284	126,275	129,774	132,184
当期利益(百万THB)	5,989	3,256	3,815	4,830	5,273
EPS(THB)	1.25	0.68	0.80	0.99	1.09
PER(倍)	10.48	19.26	16.38	13.23	12.02
BPS(THB)	9.28	9.06	10.15	11.04	11.66
PBR(倍)	1.41	1.45	1.29	1.19	1.12
配当(THB)	0.66	0.40	0.47	0.55	0.61
配当利回り(%)	5.04	3.05	3.59	4.18	4.62

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	0.55	(予想はBloomberg)
終値(THB)	13.10	2020/8/25

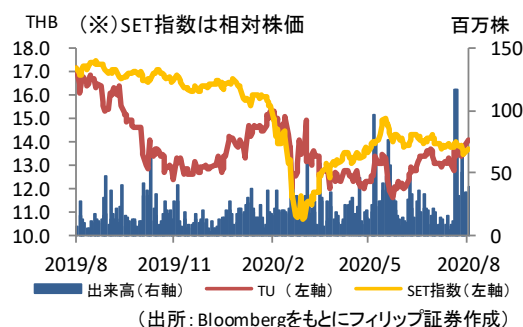
### 会社概要

1977年にマグロ缶詰の製造、輸出を目的に設立。タイ国内で冷凍食品・チルド食品およびシーフード缶詰の製造・販売を行っているほか、子会社を通じパッケージングや印刷、ペットフードなどの事業も手掛けている。海外においては、米国子会社がロブスターをはじめシーフード製品の製造・販売を行うほか、レストランチェーンや小売業者、卸売業者向けにエビをはじめとする冷凍シーフード製品の輸入販売を行っている。欧州子会社は欧州、米国、オーストラリアで密封包装食品やチルドシーフードの製造・販売を行っており、アジアの子会社はベトナムおよび中国でシーフード製品の製造・販売を手掛けている。2015年には世界最大のシーフードレストランチェーンの米レッド・ロブスターへ出資を行った。

北米では「Chicken of the Sea」「Genova」、欧州では「John West」「Petit Navire」「Parmentier」「King Oscar」「Mareblu」「Rügen Fisch」、アジア太平洋地域では「SEALCT」「Fishe」「King Oscar」「Qfresh」「Monori」「Bellotta and Marvo」などのブランドを展開する。

### 企業データ (2020/8/26)

ベータ値	0.77
時価総額(百万THB)	67,034
企業価値=EV(百万THB)	122,019
3か月平均売買代金(百万THB)	392.6



### 主要株主 (2020/8)

	(%)
1.STOCK EXCHANGE OF THAILAND	11.97
2.三菱商事	7.47
3.BBL ASSET MGMT CO LTD	6.99

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### リサーチ部

笹木 和弘  
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
+81 3 3666 6980

## 【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘  
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。